

DE&Iコンソーシアム・ハンダイのご案内



大阪大学

DE&Iコンソーシアム・ハンダイについて

【組織の目的】

産学官が連携して関西から全国へ、中小企業にも拡大し、女性研究者循環型育成をさらに推進することを通じて、ジェンダー平等を達成することを目的とし、2023年4月に発足しました。

- ・ 牽引型事業の6年間において、**大阪大学のDE&I戦略とともに「大阪男女協働推進連携会議」で培ってきたネットワークをコンソーシアム体制として維持・発展**
- ・ 持続可能かつ協力機関が参画しやすい体制を構築（参画への負担の軽減、オンライン等の活用）
- ・ 大阪大学が企画するすそ野拡大等イベントやセミナーの共同実施
- ・ 産官学による女性活躍支援に関する情報発信・提言

※大阪大学は、2021年にダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進宣言を公表し、D&Iスペース、D&Iセンターなど、D&Iという用語を全学的に使用してきました。一方で、D&Iを進めるためには単なる平等（Equality）ではなく社会的公正（Equity、実質的平等）が重要であることから、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）という用語も普及し始めています。そのため、大阪大学や関西の企業・研究機関から、より新しいDE&Iの観念を全国に普及させてゆく意味も込め「DE&I（ディー・イー・アンド・アイ）コンソーシアム阪大」という名称とさせていただきます。

参画費用

- ・ コンソーシアムへの参画は**無償**

※2022年度大阪男女協働推進連携会議参画機関は、特に意思表示のない限り自動的に新コンソーシアムに移行しています。

主な活動

- 1) コンソーシアムメンバーとの連携の場を設け、女性研究者活躍推進の底上げを図る（オンラインを含む交流を想定）
- 2) 大阪大学が企画する女子小中高生へのすそ野拡大イベントやセミナーの共同実施等

DE&Iコンソーシアム・ハンダイによる産学共創事業②

イノベーション女性活躍推進プログラム (10月~12月ごろ)

各分野において第一線で活躍中の大阪大学教授陣を中心とした講義・ワークショップ・ディスカッション等において、複数企業の女性技術者・社員と大阪大学の女子学生が集い、ともに学ぶことで、様々なライフステージにある女性が、多様な個性と能力を最大限に発揮しながら、将来にわたるリーダーシップを築くことを目指します。

開催方法：対面実施、3日間のプログラム

企業等からの参加者：20～30名

本学学生の参加者：10～20名（学部・大学院）

参加費用：50,000円／人（2026年度予定）

注：会場の都合上、各企業の女性社員の受講人数は調整させていただく場合がございます。



※大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンターから参加募集のご案内を差し上げます

DE&Iコンソーシアム・ハンダイによる産学共創教育事業①

◆アンケートにより参画機関のご希望を伺いながら、プログラムを構成します。2026年度の実施形態については、検討中です。

理系女子学生と企業等との交流会 (10～12月開催)

大阪大学の自然科学系女子学生が将来のキャリア形成を意識し育みながら学業に取り組む姿勢を持つことを目的として開催しています

学生と企業等が交流を深めることにより、お互いの現状を知る機会となります

開催方法：オンライン 約4時間のプログラム (全1回)

企業等からの参加者：1社あたり3～5名

本学学生の参加者：20～30名 (学部・大学院)

参加費用：無料 (2025年度)

理系女子学生による企業等訪問イベント (2025年度試行実施)

大阪大学の自然科学系女子学生が参画企業・研究機関を訪問し、職場見学や座談会等を通じて、現場で活躍する女性社員・研究者の方々と直接交流します

オンライン等による交流に加え、働く姿やキャリアをより具体的にイメージでき、学生と企業等が相互理解を深める機会となります



※2026年度の実施準備が整い次第、大阪大学ダイバーシティ & インクルージョンセンターから参加募集のご連絡を差し上げます

「大阪大学未来基金（女性活躍推進事業）」へのご寄付についてのお願い

大阪大学は、寄付にご賛同いただいた皆様とともに、
次世代の研究者を目指す女子中高生を応援し、
未来の女子学生や女性研究者を育成してまいります

- ・ **未来基金への1口20万円のご寄付にご協力をお願いします。**
(趣旨をご理解いただき、5口以上でご協力いただければ幸いです。)
- ・ 頂戴したご寄付は**入学支援金制度の原資**とさせていただきます。
(毎年、女子学生50名に1名あたり20万円を授与)
- ・ **協賛企業としてD&Iセンターホームページをはじめ、各種媒体で広くPRいたします。**

未来基金にご賛同いただいた企業の皆様には、ご協力いただいた年度において、次の事業を提供いたします。



大阪大学理工系学部
入学支援金制度

2025年「阪大女子の歴史とこれから」コラム掲載はこちら
女子中高生式鑑識「fall」はこちら

- 理学部、工学部、基礎工学部に入学した優秀な女子学生50名に対して**1名あたり20万円**の入学支援金を支給します。
- 入学支援金の対象となる試験の種類は、一般選抜及び総合型選抜・学校推薦型選抜です。(事前申請不要)
- 入学支援金の**使途に制限は設けず**、理工系学部への進学や学びに幅広く活用いただけます。

大阪大学は、女性リーダーの育成と、すそ野拡大に向け、次世代育成に積極的に取り組んでいます。
大阪大学の財源実現「女子学生の教育体制の充実総合パッケージ」
詳しくはこちら！

令和8年度の本事業は次の支援者の皆様のご賛同を得て実施します(原不同)

DAIKIN KOBELCO 三洋化成
ダイキン工業株式会社 株式会社神戸製鋼所 三洋化成工業株式会社

皆さんの企業も
企業から大学への
協賛が寄せられて
います！

お問い合わせ
大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Email: ki-diver-shien@office.osaka-u.ac.jp
2025.7.15 第1版

大阪大学未来基金（女性活躍支援事業）に賛同いただいた企業様への提供事業

大阪大学正規授業「ダイバーシティ & インクルージョンの世界」の聴講（7月以降）

- ・ オンデマンド型e-learningでいつでも受講可能
- ・ 受講人数の制限なし
- ・ 講師陣（例）

大竹文雄氏（大阪大学）、島岡まな氏（大阪大学）、村木厚子氏（大阪大学招へい教授）、東由紀氏（コカ・コーラボトラーズ） 他 全14講義

大阪大学「ダイバーシティ & インクルージョンセミナー」等の聴講（7～11月）

- ・ オンラインセミナー
- ・ 開催時に優先的にご案内します
- ・ セミナーテーマ（例：2025年度）

LGBTQ（外部講師）、マイクロ・アグレッション（外部講師）、男性・管理職のための働き方（外部講師）、Well-being（外部講師・本学教授）、障害の社会モデル（外部講師）

※大阪大学ダイバーシティ & インクルージョンセンターからご案内を差し上げます。

DE&I強化期間
「障害の社会モデル」を知る研修
ZOOM ウェビナー 開催
Diversity is a fact; inclusion is an act.
12/16(火)
13:30 - 14:30

講演タイトル・概要
ほんとうに公正な社会をつくるには？～「障害の社会モデル」を手がかりに～

講師
松波 めぐみ
大阪公立大学 アクセシビリティセンター 特任准教授

＜講師より＞
「多様性」「インクルージョン」といった言葉が広く使われるようになったが、裏のところに「ふわっとした」イメージにとどまっているのではないだろうか。本講演は、多様な人が平等に人権を守られる社会（あるいは大学、職場…）のあり方を考えていくためのヒントとして、「社会モデル」について取り上げる。

1967年生まれ。社会人生活を経て、1999年に大阪大学大学院人間科学研究科に進学。人間教育専攻だったが、障害学に出会う。以後、自立生活センターの介助者しながら、研究を行ってきた。

2008年3月、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程 単位取得退学。
2009年から、京都府で障害者差別解消条例をつくる運動に関わる。
2024年より、大阪公立大学アクセシビリティセンター 特任准教授。

単著に『「社会モデル」で考える「ためのレッスン」』（生活書院）、編著に『障害のある10代のための困りごと解決ハンドブック』（現代書館）、『障害のある先生たち』（生活書院）、『人権教育総合年表』（明石書店）がある。

本講演では、わかりやすく「社会モデル」について、「社会モデルで考える」とはどういうことなのか、体験やエピソードを交えてお話してみたい。

お申込み
(ZOOMウェビナー 登録画面から)

対象者：全学構成員（教職員・学生）
使用言語：日本語
新任教員研修プログラム（FD）としても受講できます！
申込期限なし・当日参加可能・事前費用も受付

主催・お問い合わせ 共催：大阪大学人権問題委員会
大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity & Inclusion



お問合せ先・ご寄付のお申込み先：

大阪大学企画部ダイバーシティ推進課 電話06-6879-4760

e-mail: ki-diver-kikaku@office.osaka-u.ac.jp